

令和5年度

# 第33回定時総会議案書

日時 令和5年6月21日（水）午前10時00分

会場 庄原市庄原自治振興センター 多目的ホール



公益社団法人庄原市シルバー人材センター

# シルバー人材センターの基本理念

【 自主 】 : 自分のものとして考える

【 自立 】 : 自分たちの力で育てる

【 共働 】 : 一緒になって働く

【 共助 】 : お互いに助け合う

## 第4次中期計画

(令和5年度～令和9年度)

### 基本目標

～支えられる高齢者から支える高齢者へ～

目標達成の柱

会員の確保と就業環境等の整備

就業の開拓

安全・適正就業の推進・徹底

安定した事業運営と組織強化

## 第 33 回定時総会次第

- 1 開会
- 2 理事長あいさつ
- 3 来賓紹介
- 4 功績者・永年勤続者表彰
- 5 来賓あいさつ
- 6 議長選出
- 7 定足数報告
- 8 議事録署名人選出
- 9 議 事
  - 報告第 1 号 令和 4 年度の事業報告について
  - 議案第 1 号 令和 4 年度の決算の承認について
  - 報告第 2 号 令和 4 年度事業及び決算の監査報告について
  - 議案第 2 号 理事の選任に承認を求めることについて
  - 議案第 3 号 理事長に対する権限委任について
  - 報告第 3 号 令和 5 年度事業計画及び収支予算等について
- 10 閉 会

## 功績者・永年勤続者表彰

公益社団法人庄原市シルバー人材センター表彰規程に基づく第33回定時総会における表彰者名簿

功績表彰：

該当者なし

勤続表彰：

センター会員 20年表彰(平成14年4月1日～平成15年3月31日入会者)

1	かわぐち てるお 川口 輝男	大久保町	4	にしむら まさかつ 西村 正克	三日市町
2	なか きぬえ 中 絹江	山内町	5	やました かなめ 山下 要	上原町
3	ながやま みつおき 永山 光興	西本町			

センター会員 10年表彰(平成24年4月1日～平成25年3月31日入会者)

1	あらかき ゆきお 荒木 幸夫	西城町	13	たかぐち ちづみ 高口 千積	東本町
2	ありた はるお 有田 晴雄	口和町	14	たかはし としお 高橋 俊夫	板橋町
3	えいだ あさこ 榮田 朝子	比和町	15	なかむら やとし 中村 八十志	東本町
4	かたやま さとる 片山 悟	西城町	16	なんば まさお 南場 正夫	比和町
5	かねまる ひとし 金丸 等	本村町	17	ぬしだ はつみ 主田 初美	西城町
6	きよひさ しんいち 清久 親一	西城町	18	ひの よしみ 日野 良美	西城町
7	きよひさ みちえ 清久 みち江	西城町	19	まつむら みちお 松村 三千雄	川手町
8	こばやし やすじ 小林 康二	東城町	20	まつもと ゆくお 松本 行生	市町
9	しらね あつこ 白根 敦子	西城町	21	よこやま よしみ 横山 良美	比和町
10	たなべ のぶひこ 田邊 宣彦	口和町	22	わたなべ としひこ 渡邊 敏彦	口和町
11	たむら とみお 田村 富夫	西城町	23	わだ ひろし 和田 博志	本村町
12	ためいし ゆたか 爲石 豊	東城町			

センター職員 30年在職

1	ほりうち つかさ 堀内 司	平成4年5月1日採用
---	------------------	------------

## 報告第1号

### 令和4年度の事業報告について

公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款第43条の規定に基づき令和4年度の事業報告を行う。

令和5年6月21日 提出

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター  
理事長 田 村 富 夫

## 令和4年度事業報告

### I 概要

令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、令和2年8月8日に市内での感染が確認されて以降、会員やセンター職員の感染も含め、令和4年度末までに7,792人が感染し、度重なる行動制限により私たちの生活様式は大きく様変わりし、当センターにおいても会員活動や会員数、就業の機会、受注額などに大きく影響しました。

また、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけにした電気やガス料金など終わりが見えない諸物価の高騰は、生活への経済的負担が重くのしかかり、1日も早い侵攻の終結が望まれます。

一方、本市の令和4年度末の人口は令和3年度末の33,091人から748人減少し32,343人となり、60歳以上の高齢者も398人減少しましたが、60歳以上の比率は50.8%で人口が減少する中で市民の2人に1人は60歳以上となっています。

こうした社会環境の下、新規入会者は31名となったものの、高齢等に伴う退会者は49名と退会者数が新規入会者数を上回ったことから会員数は395名(前年度比で18名の減少)となり、事業計画の目標会員数430名(コロナ前の水準)の達成はできませんでした。

また、業務実績はコロナ禍の影響もあり、受注額は 177,935 千円で、前年対比で 5,455 千円減額となりました。

安全就業では、6 月末までゼロ件でしたが物損事故は 2 件発生し、シルバー保険の対象となった事故は 2 件、損害賠償額は 136 千円、傷害事故は 7 件で保険の対象となった事故は 7 件、保険給付額は 42 千円となりました。

適正就業では、国のガイドラインに沿った請負の契約就業に向け、会員や発注者への個別説明や会報誌などにより周知に努めました。

広報・啓発事業では、会員募集活動の地区班ボランティア活動は 5 件 3 班 45 名(令和 3 年度は 5 件 3 班 42 名)、「全国統一啓発活動」は屋外での活動とし、参加会員は 131 名(令和 3 年度は 136 名)といずれも新型コロナウイルスの影響もあり前年度並みとなりました。

第 4 次中期計画について、センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」のもと、「地域共生社会」実現の一翼を担うため、「支えられる高齢者から支える高齢者へ」を基本目標とする第 4 次中期計画(令和 5 年度から令和 9 年度)を策定しました。当センターに寄せられる期待に持続的、かつ最大限に応えるため、「会員確保と就業環境等の整備」「就業の開拓」「安全・適正就業の推進、徹底」「安定した事業運営と組織強化」を「目標達成の柱」に設定し、本計画を着実に進めるため、会員、役員、職員が一体となり取り組みを進めていきます。

以下、令和 4 年度事業の実施状況を報告します。

## II 事業の実施状況

### 1 雇用によらない就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、センターは高齢者に相応しい地域に密着した仕事を家庭や民間企業、官公庁等から有償で引き受け、会員の能力や希望等に応じて請負又は委任という形態により会員に提供しました。

- (1) 受託区分の内訳では、企業は 3,744 千円伸びましたが、公共で 3,514 千円、個人で 3,780 千円、派遣で 1,628 千円減少しました。
- (2) 独自事業については、しめ飾りの作製販売と門松の作製設置及び年賀状の印刷、竹細工を継続して行いました。独自事業に取り組む会員の高齢化と減少により販売実績は 2,044 千円で前年度比 227 千円減少しました。
- (3) 受注金額総額では、令和 4 年度の目標値 164,783 千円(コロナ前の水準)に対して 160,146 千円 97.2%、対前年実績比で 3,827 千円の減額となりました。

## 2 雇用による就業機会の提供

主に派遣による臨時的かつ短期的な就業機会の提供を民間事業者や官公庁から受注し会員へ提供しました。

(1) 労働者派遣事業は、「広島県シルバー人材センター連合会庄原市事務所」として、労働者派遣事業を実施しました。

- ① 派遣事業の広報については、役員と事務局で年末年始に事業所を訪問し、引き続き派遣事業の発注をお願いしました。
  - ② 派遣就業会員の研修については、新型コロナのため開催されませんでした。
  - ③ 介護予防・日常生活支援総合事業関係への派遣については、実績がありませんでした。
  - ④ 派遣事業受注額については、令和4年度の目標値 21,840 千円(コロナ前の水準)に対し、実績額は 17,789 千円となり、前年度実績比では 1,628 千円下回りました。
- (2) 職業紹介事業は、雇用による就業を希望する会員に、就業機会を確保する職業紹介事業を有料で実施する事業ですが、実績はありませんでした。

## 3 就業に必要な知識・技能を付与するための講習等

会員の就業上必要な知識・技能を身に付けるための研修会、講習会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

## 4 事業推進のための諸活動及び社会参加活動等

### (1) 啓発活動

- ① 庄原市と連携し、会報「庄原シルバー」の全戸回覧を行うとともに市内の自治振興センターや行政関係施設などに配布し、市民へのシルバー活動の広報啓発に努めました。
- ② 地区班活動については、平成 28 年度から補助金制度を設けて活動の推進を図ってきました。令和 4 年度も活動の対象となった活動 5 件(3 班)に対して 63 千円を交付しました。また、参加会員は延 45 名で前年度と比べて 3 名増加しました。
- ③ 年度途中で加入する会員会費を減額し新規の入会促進に取り組みましたが、会員数は 395 名(対前年度比 18 名減)となり、令和 4 年度目標値 430 名は達成できませんでした。

### (2) 安全な就業

就業前、効率的に安全確認ができるよう令和 4 年度に安全チェックシートの見直しを行いました。また、職域班での就業は安全チェックの徹底を図るため、全件事務局に提出して頂きました。

- ① 安全就業(刈払い機)講習会を連合会事業として当センターで開催しましたが、安全運転講習会等は新型コロナにより実施できませんでした。
- ② 会員の健康管理は、健康診断の結果やかかりつけ医の指導を踏まえ、適切な日常生活をお願いしました。なお、熱中症について発生の報告はありませんでしたが引き続き、就業前・就業中・就業後の適切な体調管理をお願いします。
- ③ 安全就業パトロールについては、安全委員会を中心に抜き打ちで行いましたが、保護具の着用等は良好でした。
- ④ 令和4年度の傷害事故は7件、物損事故は2件でした。このうち特に草刈り作業中の事故発生件数割合が7割と高いことや、傷害事故中の8割が蜂刺されで、就業時の安全点検、配慮の更なる徹底が求められます。なお、重篤事故は発生しませんでした。再発防止については、その都度、当事者などと共に事故原因の究明と防止策について協議し、安全委員会への報告や会報により会員に周知しました。
- ⑤ 高齢者ドライバーによる悲惨な交通事故が全国的に後を絶たないことを受け、人を輸送する運転手としての就業は満75歳まで、物品を輸送する運転手としての就業は満80歳までとする就業の年齢制限について、安全及び適正就業に関する規程に決めました。なお、将来的には輸送業務への就業は縮小・撤退の方向で進めていきます。
- ⑥ 安全就業スローガンの募集を行い、新たなスローガンを決定しました。

### (3) 就業の開拓・拡大

- ① 新規業務の開拓については、会員、役員、職員がそれぞれの立場、行動範囲で当センターの広報を心がけました。
- ② 女性会員については、前年度と比べ4名減の124名になりました。
- ③ 独自事業として、今年度もしめ飾りや椎茸のほだ木、竹細工(熊手)の製作と販売に取り組みました。
- ④ 就業率の向上については、令和4年度では79.24%となり前年度から約3%低下しました。

### (4) 相談、情報提供

- ① センターに入会を希望する高齢者に対して、定期的に毎月20日(休日の場合は翌開所日)と希望者の都合に合わせて随時の入会説明会を開催し、30名の新規入会者がありました。
- ② 会員の相談や情報提供として毎月20日(休日の場合は翌開所日)の午後を、会員就業相談日としていますが実績はありませんでした。なお、日々の会員との会話や電話などで就業に関する相談対応は随時行ないました。
- ③ 昨年度に続き地区別懇談会を実施し、情報提供及び、会員・役員・職員間で意見交換を行いました。

### (5) 社会参加活動の推進



- ① 全国で統一して10月の第3土曜日を「シルバーの日」と定め、市内においても7地域で社会奉仕活動を実施しました。参加会員は131名で前年度よりも5名減りました。地区班でのボランティア活動は、市内でのイベントの中止等もありましたが、3班5件45名と前年度より3名増加しました。
- ② 地区班活動補助金制度を会報誌に掲載し周知を図りました。

#### (6) 専門部会活動の充実

理事会で審議、協議または報告する議案や議題等については、事務局連絡会議や三役会(理事長、副理事長、常務理事)及び所掌する専門部会や専門委員会の会議を経ることを原則としたことから、専門部会等での議論が充実しました。

#### (7) 財政の安定化

- ① インボイス制度への対応や増大化する事務的経費を的確に把握し、適正な経営を進めるため、キャッシュフローベースでの将来推計を実施し、今後の事務費需要額のシミュレーションを行いました。
- ② 受託料金の未収金根絶を図るため、未納者へは早目に督促し、早期入金となるよう努めてきましたが、破産などにより2件104,839円を貸倒損失処理しました。会費未納による退会者は8名で13,000円を貸倒損失処理しました。引き続き粘り強く徴収を行い収入の確保に努めます。

#### (8) 事務局体制の充実強化

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により、会議や研修会が大幅に減少となりましたが、動画配信の視聴やオンライン会議に積極的に参加することで、職員の知識習得やスキル向上に努めました。
- ② 支所において、見積・契約から会員就業までの事務整理にかかっていた時間短縮と経費削減のため電子決裁を導入しました。また、業務システムを刷新し西城支所でも処理ができるよう業務端末を導入しました。さらに、これまでの農協による会費納付を市内窓口の多い郵便局に変更し、会費や就業代金の収納をコンビニエンスストアやスマホから行えるよう対応するなど、会員、発注者の利便性の向上を図りました。
- ③ 令和3年度第2四半期監査において、ガバナンスの強化、不祥事の未然防止、相互牽制の観点から人事異動に取り組むよう意見があったことから、三役会や総務部会、理事会で協議を進めました。令和4年度の対応としては、センター事務をマニュアル化し、事務の見える化を図りました。また、事務規程を見直し、理事長が委任する権限と責任の所在を明確化するなど、組織マネジメントに取り組みました。
- ④ 法令順守のためのコンプライアンスの遵守に関する役職員研修を実施し、組織規律の向上に取り組みました。

庄原市シルバー人材センター事業実績資料

◎年度別会員数及び就業実績状況

(単位：人)

会員状況	会員数			就業実人員実績					
	男性	女性	計	男性	就業率	女性	就業率	男女計	就業率 男女計
平成 23 年度	299	158	457	221	73.91%	132	83.54%	353	77.24%
平成 24 年度	280	133	413	225	80.36%	119	89.47%	344	83.29%
平成 25 年度	267	119	386	217	81.27%	110	92.44%	327	84.72%
平成 26 年度	275	120	395	217	78.91%	108	90.00%	325	82.28%
平成 27 年度	277	138	415	224	80.87%	105	76.09%	329	79.28%
平成 28 年度	278	133	411	236	84.89%	113	84.96%	349	84.91%
平成 29 年度	284	130	414	233	82.04%	105	80.77%	338	81.64%
平成 30 年度	294	137	431	233	79.25%	106	77.37%	339	78.65%
令和元年度	287	143	430	232	80.84%	101	70.63%	333	77.44%
令和 2 年度	287	138	425	228	79.44%	97	70.29%	325	76.47%
令和 3 年度	285	128	413	243	85.26%	96	75.00%	339	82.08%
令和 4 年度	271	124	395	222	81.92%	91	73.39%	313	79.24%

◎地域別シルバー会員入会状況(令和 5 年 3 月末の状況)

(単位：人)

	地区別人口	60 歳以上の人口	シルバー会員数	入会率
庄原地域	16,894	7,544	165	2.19%
西城地域	2,995	1,814	62	3.42%
東城地域	6,844	3,801	63	1.66%
口和地域	1,771	977	22	2.25%
高野地域	1,508	889	31	3.49%
比和地域	1,169	767	45	5.87%
総領地域	1,162	639	7	1.10%
計	32,343	16,431	395	2.40%

60 歳以上の人口比率 50.8%

◎地域別シルバー会員の入退会動向(令和5年3月末の状況)

(単位：人)

	前年度末の 会員数	年間異動数			今年度末の 会員数	内 訳	
		入会者数	退会者数	差引増減		男性	女性
庄原地域	177	9	21	-12	165	103	62
西城地域	62	5	5	0	62	46	16
東城地域	69	4	10	-6	63	48	15
口和地域	21	3	2	1	22	18	4
高野地域	34	3	6	-3	31	25	6
比和地域	44	5	4	1	45	25	20
総領地域	6	2	1	1	7	6	1
計	413	31	49	-18	395	271	124

◎年度別の業務実績の推移

(単位：千円)

区 分 年度別	受託事業			独自事業	合計	派遣事業	SC事業+ 派遣
	公共	企業	個人				
平成23年度	69,263	49,376	58,731	706	178,076		178,076
平成24年度	62,545	35,589	59,491	936	158,561		158,561
平成25年度	59,782	28,416	59,810	1,143	149,151	6,793	155,944
平成26年度	65,452	31,048	56,771	1,618	154,889	6,252	161,141
平成27年度	71,923	29,427	52,629	1,850	155,829	8,184	164,013
平成28年度	73,529	29,060	54,898	2,047	159,534	11,004	170,538
平成29年度	73,296	27,161	52,411	2,409	155,277	14,018	169,295
平成30年度	80,391	24,295	54,641	2,587	161,914	18,368	180,282
令和元年度	85,179	21,771	47,367	2,378	156,695	19,953	176,648
令和2年度	100,222	17,074	45,867	2,267	165,430	20,245	185,676
令和3年度	100,548	21,341	39,762	2,322	163,973	19,418	183,391
令和4年度	97,034	23,042	38,026	2,044	160,146	17,789	177,935

◎令和4年度職群別の業務実績状況

区 分 \ 実 績	受注件数(件)	延べ就業人員(人)	受託契約額(円)
技 術 群	2	32	143,495
技 能 群	243	1,439	10,262,765
事 務 群	2	109	590,310
管 理 群	241	7,569	57,233,364
折衝外交群	36	573	7,196,647
一般作業群	2,215	13,497	80,121,434
サービス群	34	839	4,597,534
そ の 他	0	0	0
計	2,773	24,058	160,145,549

令和4年度地域別事業実績(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

区 分 地域		受託事業			独自事業	合計	派遣事業
		公共	企業	個人			
庄原	令和4年度	32,062,527	15,669,587	16,223,803	2,044,025	63,955,917	10,194,210
	令和3年度	40,236,947	14,927,228	21,197,334	2,321,385	78,682,894	12,707,069
	前年対比	79.68%	104.97%	76.54%	88.05%	81.28%	80.22%
西城	令和4年度	14,188,411	2,362,050	4,652,490		21,202,951	5,105,595
	令和3年度	13,795,514	1,721,557	4,427,850		19,944,921	4,145,626
	前年対比	102.85%	137.20%	105.07%	—	106.31%	123.16%
東城	令和4年度	17,759,517	1,682,750	7,040,893		26,483,160	2,211,739
	令和3年度	14,742,027	837,740	6,410,250		21,990,017	2,493,062
	前年対比	120.47%	200.87%	109.84%	—	120.43%	88.72%
口和	令和4年度	4,440,761	664,260	1,391,400		6,496,421	
	令和3年度	4,416,824	544,278	1,179,960		6,141,062	
	前年対比	100.54%	122.04%	117.92%	—	105.79%	
高野	令和4年度	6,972,539	4,695,800	2,988,580		14,656,919	159,621
	令和3年度	7,481,434	3,299,050	2,700,960		13,481,444	0
	前年対比	93.20%	142.34%	110.65%	—	108.72%	
比和	令和4年度	17,576,304	0	3,342,831		20,919,135	118,047
	令和3年度	15,859,603	0	3,564,350		19,423,953	71,952
	前年対比	110.82%		93.79%	—	107.70%	164.06%
総領	令和4年度	4,033,821	10,900	342,300		4,387,021	
	令和3年度	4,015,264	11,420	281,580		4,308,264	
	前年対比	100.46%	95.45%	121.56%	—	101.83%	
合計	令和4年度	97,033,880	25,085,347	35,982,297	2,044,025	160,145,549	17,789,212
	令和3年度	100,547,613	21,341,273	39,762,284	2,321,385	163,972,555	19,417,709
	前年対比	96.51%	117.54%	90.49%	88.05%	97.67%	91.61%
差引増減額		▲ 3,513,733	3,744,074	▲ 3,779,987	▲ 277,360	▲ 3,827,006	▲ 1,628,497

## 機関会議等開催状況及び各種活動実績

### 1 総会

名称	開催年月日	主要議題
第 32 回定時総会	令和 4 年 6 月 17 日	<p>令和 3 年度事業報告及び決算の承認について</p> <p>公益社団法人庄原市シルバー人材センター会費規程の一部改正について</p> <p>公益社団法人庄原市シルバー人材センター役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について</p> <p>公益社団法人庄原市シルバー人材センター理事長が委嘱した委員等の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について</p> <p>理事及び監事の選任に承認を求めることについて</p> <p>理事長に対する権限委任について</p> <p>令和 4 年度事業計画及び収支予算等について</p>

### 2 理事会及び監査

名称	開催年月日	主要議題
監査	令和 4 年 5 月 9 日	令和 3 年度事業報告及び決算監査
	令和 4 年 9 月 6 日	令和 4 年度第 1 四半期(4 月～6 月)事業会計監査
	令和 4 年 11 月 7 日	令和 4 年度第 2 四半期(7 月～9 月)事業会計監査
	令和 5 年 2 月 10 日	令和 4 年度第 3 四半期(10 月～12 月)事業会計監査
第 1 回理事会	令和 4 年 5 月 19 日	<p>個人情報保護に関する規程の一部改正について</p> <p>個人情報保護方針の一部改正について</p> <p>役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について</p> <p>職員就業規則の一部改正について</p> <p>短時間勤務任用職員等就業規則の一部改正について</p> <p>自動車使用規程の制定について</p> <p>表彰規定に基づく被表彰者について</p> <p>特別会員の入会及び会費免除について</p> <p>令和 3 年度事業報告及び決算の承認について</p> <p>令和 3 年度事業及び決算の監査報告について</p> <p>第 32 回定時総会の招集事項の決定について</p>

第2回理事会	令和4年6月19日	公益社団法人庄原市シルバー人材センター理事長、副理事長及び常務理事の選任に承認を求めることについて 公益社団法人庄原市シルバー人材センター事務局長の選任に承認を求めることについて 公益社団法人庄原市シルバー人材センター専門部会及び専門委員会の委員の選任に承認を求めることについて
第3回理事会	令和4年9月27日	令和4年収支補正予算(第1号)案について コンプライアンス責任者の指名について 電子決裁システムの導入方針(案)について 事務規程の見直し方針(案)について 第4次中期計画の策定方針(案)について 令和4年度のセンター活動方針(案)について ・全国統一社会奉仕活動 ・地区別懇談会及び安全運転講習会 ・広報活動「庄原シルバーの日」
第4回理事会	令和4年12月26日	令和5年度予算編成方針案について 職員就業規則の一部を改正する規則案について 短時間勤務任用職員等就業規則の一部を改正する規則案について 令和4年度収支補正予算(第2号)案について コンビニ収納等について
第5回理事会	令和5年3月17日	令和5年度新規ゴールド会員の承認について 短時間勤務任用職員等就業規則の一部を改正する規則案について 安全及び適正就業に関する規程を制定する規程案について 令和5年度社団法人役員賠償責任保険団体制度への加入について 令和5年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

### 3 専門部会・専門委員会

名称	開催年月日	主要議題
第1回総務部会	令和4年5月16日	個人情報の保護に関する規程の一部改正について 個人情報保護方針の一部改正について 役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正について

		<p>職員就業規則の一部改正について</p> <p>短時間勤務任用職員等就業規則の一部改正について</p> <p>自動車使用規程の制定について</p> <p>表彰規定に基づく被表彰者について</p> <p>特別会員の入会及び会費免除について</p> <p>令和3年度事業報告及び決算の承認について</p> <p>第32回定時総会の招集事項の決定について</p>
第2回総務部会	令和4年7月20日	<p>総務部会長、総務副部会長の互選について</p> <p>令和4年度協議事項について</p>
第3回総務部会	令和4年9月7日	<p>令和4年度収支補正予算(第1号)について</p> <p>コンプライアンス責任者の指名について</p> <p>電子決裁システムの導入方針について</p> <p>事務規程の見直し方針について</p> <p>第4次中期計画の策定について</p> <p>インボイス制度への対応について(中間報告)</p> <p>未収金回収取扱い及び回収不能債権処理について</p> <p>庄原市長及び庄原市議会議長への要望活動について</p>
第4回総務部会	令和4年12月12日	<p>職員就業規則の一部を改正する規則案について</p> <p>短時間勤務任用職員等就業規則の一部を改正する規則案について</p> <p>回収不能及び貸倒損失について</p> <p>令和4年度収支補正予算案(第2号)について</p> <p>電子決裁システムを使用して行う業務等に関する要綱案について</p> <p>コンビニ収納等について</p> <p>第4次中期計画案について</p> <p>令和5年度予算編成方針案について</p>
第5回総務部会	令和5年1月23日	<p>インボイス、物価高騰等に対する対応について</p> <p>支所長及び就業促進支援員の勤務時間等の変更について</p> <p>安全及び適正就業に関する規程(案)について</p> <p>第4次中期計画(案)について</p>
第6回総務部会・第5回事業部会合同部会	令和5年2月20日	<p>第4次中期計画(案)について</p>
第7回総務部会	令和5年3月10日	<p>令和5年度社団法人役員賠償責任保険団体制度への加入について</p> <p>令和5年度事業計画、収支予算について</p>



第1回事業部会	令和4年7月21日	事業部会長、事業副部会長の互選について 令和4年度協議事項について
第2回事業部会	令和4年9月7日	第4次中期計画の策定について 令和4年度のセンター活動方針について 全国統一社会奉仕活動について 地区別懇談会及び安全運転講習会について 広報活動「庄原シルバーの日」について
第3回事業部会	令和4年12月12日	第4次中期計画の策定について
第4回事業部会	令和5年1月23日	第4次中期計画の策定について
第1回安全及び適正就業委員会	令和4年4月7日	令和3年度事故発生状況について 令和4年度の計画について
第2回安全及び適正就業委員会	令和4年7月21日	安全及び適正就業委員会委員長及び副委員長の互選について 令和4年度事故発生状況について
第3回安全及び適正就業委員会	令和4年12月12日	令和4年度事故発生状況について 適正就業(見積・契約)について
第4回安全及び適正就業委員会	令和5年3月3日	令和4年度事故発生状況について 安全就業スローガン選定について 安全及び適正就業に関する規程(案)について
第1回広報委員会	令和4年6月6日	令和4年度夏季号の発行スケジュール、紙面構成について
第2回広報委員会	令和4年7月1日	広報委員会委員長、副委員長の互選について 令和4年度夏季号初校校正
第3回広報委員会	令和4年10月24日	令和4年度新春号の発行スケジュール、紙面構成について
第4回広報委員会	令和4年12月12日	令和4年度新春号初校校正
第5回広報委員会	令和4年12月26日	令和4年度新春号最終校正
第1回コンプライアンス委員会	令和4年7月20日	コンプライアンス委員会委員長及び副委員長の互選について
第1回苦情相談委員会	令和4年7月21日	苦情相談委員会委員長、副委員長の互選について
第1回理事及び監事候補者選考委員会	令和4年4月11日	選考委員会委員長、副委員長の互選について 選考スケジュール、選考要綱等関係規定確認
第2回理事及び監事候補者選考委員会	令和4年4月25日	理事及び監事候補者の選考について

#### 4 会議・研修等

名称	開催年月日	主要議題
各種会議等	令和4年5月26日	令和4年度連合会安全就業対策委員会(オンライン)

	令和4年6月14日	令和4年度派遣事業運営委員会(オンライン)
	令和4年6月20日	広島県シルバー人材センター連合会総会
	令和4年7月7日 ～7月29日	令和4年度 安全就業担当者研修会(オンライン)
	令和4年7月14日	令和4年度第1回事務局長会議
	令和4年10月17日 ～10月30日	令和4年度適正就業担当者会議(オンライン)～10/30
	令和4年12月16日	令和4年度理事長会議・研修会
	令和5年2月7日 ～2月28日	令和4年度適正就業担当者会議(オンライン)
	令和5年2月17日	令和4年度第2回事務局長会議・実務担当者研修会
	令和5年3月3日 ～3月24日	全シ協主催「シルバー事業情報交換会議(オンライン)」
各種研修会等	令和4年7月27日	安全運転管理者講習
	令和4年9月21日 ～9月22日	刈払機取扱安全衛生講習会
	令和4年10月14日	有料職業紹介事業責任者講習(福岡市)
	令和4年10月31日 ～11月1日	令和4年度役職員研修会(岡山市)
	令和4年11月24日	しめ飾り作り体験(連合会主催)
	令和5年3月17日	役職員コンプライアンス研修
要請活動等	令和4年10月5日	庄原市長要望活動
	令和4年10月5日	庄原市議会議長要望活動
	令和4年12月22日	庄原市議会教育民生常任委員会
社会奉仕・啓発活動	令和4年11月25日	「フラワー通り花いっぱい運動」78回植栽
	令和4年10月15日	全国統一センター事業普及啓発促進活動「シルバーの日」
地区班広報活動	令和4年4月8日	西城地区班 備後西城駅周辺等草刈り2人参加
	令和4年4月13日	庄原地区班 庄原市役所前広場草取り、夏花苗植栽 13人参加
	令和4年6月14日	西城地区班 農村公園草刈り3人参加
	令和4年7月2日	東地区班 東小学校プール周辺草刈り12人参加
	令和4年11月16日	庄原地区班 庄原市役所前広場草取り、春花苗植栽 15人参加
地区別懇談会	令和4年2月21日	地区別懇談会(西城地区)21人参加
	令和5年2月21日	地区別懇談会(東城地区)29人参加
	令和5年2月22日	地区別懇談会(比和地区)9人参加

	令和5年2月22日	地区別懇談会(高野地区) 13人参加
	令和5年2月24日	地区別懇談会(庄原、口和、総領地区) 30人参加
互助会	令和4年6月23日	第1回互助会役員会
	令和4年11月2日	第2回互助会役員会
同好会活動 (独自事業含む)	令和4年4月3日	椎茸ホダ木販売
	令和4年12月20日 ～12月28日	しめ飾り販売
		カラオケ同好会 定期練習会の開催等
		グランドゴルフ同好会 会員交流大会等の開催
		パソコン同好会 年賀状等の受託
		園芸苔玉同好会 苔玉の制作等
		しめ飾り門松同好会 しめ飾り、門松等の製作販売
		レクレーション同好会 吹矢練習等の開催
		手芸同好会 手芸品の製作販売
第1回事務局連絡会議	令和4年4月1日	例規改正、入会説明資料等の検討
第2回事務局連絡会議	令和4年4月18日	第4次中期計画検討
第3回事務局連絡会議	令和4年5月12日	事務局職員への連絡、課題検討・協議等
第4回事務局連絡会議	令和4年7月4日	
第5回事務局連絡会議	令和4年8月29日	
第6回事務局連絡会議	令和4年10月24日	
第7回事務局連絡会議	令和4年12月5日	
第8回事務局連絡会議	令和5年1月4日	
第9回事務局連絡会議	令和5年1月23日	
第10回事務局連絡会議	令和5年2月20日	
第11回事務局連絡会議	令和5年3月6日	

#### 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

## 議案第1号

令和4年度の決算の承認について

公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款13条第1項第5号及び第43条の規定に基づき令和4年度の決算の承認を求める。

令和5年6月21日 提出

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター  
理事長 田 村 富 夫

## 提案理由

令和4年度決算の書類について承認を求めるものである。

## 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

行 番号	科目	当年度	前年度	増減
1	I 資産の部			
2	1. 流動資産			
3	現金預金	15,875,759	13,156,841	2,718,918
4	未収金	9,926,138	13,156,592	△ 3,230,454
5	未収会費	8,000	8,000	0
6	立替金	26,153	32,793	△ 6,640
7	前払金	356,170	299,080	57,090
8	流動資産合計	26,192,220	26,653,306	△ 461,086
9	2. 固定資産			
10	(1) 特定資産			
11	財政運営積立資産	7,000,000	7,000,000	0
12	インボイス対応準備資金積立資産	3,000,000	2,500,000	500,000
13	施設整備積立資産	2,200,000	2,200,000	0
14	車両運搬具購入積立資産	2,039,000	2,039,000	0
15	OA機器更新積立資産	0	3,867,600	△ 3,867,600
16	什器備品購入積立資産	415,000	415,000	0
17	特定資産合計	14,654,000	18,021,600	△ 3,367,600
18	(2) その他固定資産			
19	建物	341,956	386,329	△ 44,373
20	車両運搬具	1,258,959	2,723,612	△ 1,464,653
21	什器備品	3,878,031	950,579	2,927,452
22	預託金	58,530	58,530	0
23	出資金	10,000	10,000	0
24	その他固定資産合計	5,547,476	4,129,050	1,418,426
25	固定資産合計	20,201,476	22,150,650	△ 1,949,174
26	資産合計	46,393,696	48,803,956	△ 2,410,260
27	II 負債の部			
28	1. 流動負債			
29	未払金	9,492,363	12,117,749	△ 2,625,386
30	前受金	766,650	915,380	△ 148,730
31	預り金	480,225	436,886	43,339
32	仮受金	32,000	3,000	29,000
33	賞与引当金	2,144,632	2,096,490	48,142
34	短期リース債務	0	67,170	△ 67,170
35	流動負債合計	12,915,870	15,636,675	△ 2,720,805
36	2. 固定負債			
37	固定負債合計	0	0	0
38	負債合計	12,915,870	15,636,675	△ 2,720,805
39	III 正味財産の部			
40	1. 指定正味財産	0	0	0
41	2. 一般正味財産	33,477,826	33,167,281	310,545
42	(うち特定資産への充当額)	( 14,654,000 )	( 18,021,600 )	( △ 3,367,600 )
43	正味財産合計	33,477,826	33,167,281	310,545
44	負債及び正味財産合計	46,393,696	48,803,956	△ 2,410,260

## 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	当年度	前年度	増減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	受託事業収益	160,145,549	163,972,555	△ 3,827,006
5	受取配分金	133,282,438	133,418,244	△ 135,806
6	受取材料費等	13,303,812	16,793,186	△ 3,489,374
7	受取事務費	13,559,299	13,761,125	△ 201,826
8	労働者派遣事業等受託収益	2,044,503	2,116,100	△ 71,597
9	労働者派遣事業等受託収益	2,044,503	2,116,100	△ 71,597
10	庄原市受託事業収益	0	500,000	△ 500,000
11	庄原市受託事業収益	0	500,000	△ 500,000
12	受取会費	441,000	466,000	△ 25,000
13	正会員受取会費	399,000	421,000	△ 22,000
14	特別会員受取会費	42,000	45,000	△ 3,000
15	受取補助金等	40,115,000	40,115,000	0
16	受取連合交付金	18,839,000	18,839,000	0
17	受取市補助金	21,276,000	21,276,000	0
18	受取負担金	595,860	623,340	△ 27,480
19	受取負担金	595,860	623,340	△ 27,480
20	特定資産運用益	44	76	△ 32
21	特定資産受取利息	44	76	△ 32
22	雑収益	214,516	193,423	21,093
23	受取利息	254	205	49
24	受取配当金	400	400	0
25	受取保険金	115,207	69,365	45,842
26	雑収益	98,655	123,453	△ 24,798
27	経常収益計	203,556,472	207,986,494	△ 4,430,022
28	(2) 経常費用			
29	事業費	199,846,205	200,412,630	△ 566,425
30	支払配分金	133,282,438	133,418,244	△ 135,806
31	支払材料費等	11,687,166	14,583,961	△ 2,896,795
32	役員報酬	896,000	576,000	320,000
33	給料手当	29,883,835	28,290,602	1,593,233
34	臨時雇賃金	193,080	464,700	△ 271,620
35	法定福利費	5,066,549	4,570,518	496,031
36	賞与引当金繰入額	2,068,444	2,025,823	42,621
37	退職給付費用	1,438,201	1,304,971	133,230
38	福利厚生費	77,930	73,799	4,131
39	会議費	12,152	0	12,152
40	旅費交通費	169,142	90,518	78,624
41	通信運搬費	1,226,357	1,039,496	186,861
42	減価償却費	2,304,086	2,506,502	△ 202,416
43	什器備品費	54,780	485,970	△ 431,190
44	消耗品費	554,056	674,579	△ 120,523
45	修繕費	561,053	947,915	△ 386,862
46	印刷製本費	973,200	577,971	395,229
47	光熱水料費	899,017	853,712	45,305
48	賃借料	1,657,033	1,787,437	△ 130,404
49	保険料	1,354,390	1,370,620	△ 16,230
50	諸謝金	93,000	390,900	△ 297,900
51	租税公課	1,290,828	1,429,418	△ 138,590
52	委託費	3,539,545	2,481,106	1,058,439
53	支払手数料	111,781	63,753	48,028
54	貸倒損失	111,339	8,000	103,339
55	支払利息	222	14,726	△ 14,504
56	損害賠償金	135,207	86,185	49,022
57	雑費	205,374	295,204	△ 89,830

## 正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	当年度	前年度	増減
58	管理費	3,399,722	2,715,159	684,563
59	役員報酬	919,000	632,000	287,000
60	給料手当	912,371	835,906	76,465
61	法定福利費	158,631	145,601	13,030
62	賞与引当金繰入額	76,188	70,667	5,521
63	退職給付費用	52,679	49,605	3,074
64	福利厚生費	2,070	2,070	0
65	会議費	18,867	0	18,867
66	旅費交通費	252,752	95,800	156,952
67	通信運搬費	136,506	131,802	4,704
68	減価償却費	27,828	30,692	△ 2,864
69	消耗品費	29,247	43,077	△ 13,830
70	印刷製本費	175,100	149,600	25,500
71	光熱水料費	74,406	70,606	3,800
72	賃借料	14,021	14,021	0
73	諸謝金	160,000	36,000	124,000
74	租税公課	21,600	21,600	0
75	支払負担金	268,500	268,500	0
76	委託費	62,961	53,782	9,179
77	支払手数料	1,815	1,210	605
78	貸倒損失	6,500	8,000	△ 1,500
79	雑費	28,680	54,620	△ 25,940
80	経常費用計	203,245,927	203,127,789	118,138
81	評価損益等調整前当期経常増減額	310,545	4,858,705	△ 4,548,160
82	当期経常増減額	310,545	4,858,705	△ 4,548,160
83	2. 経常外増減の部			
84	(1) 経常外収益			
85	経常外収益計	0	0	0
86	(2) 経常外費用			
87	経常外費用計	0	0	0
88	当期経常外増減額	0	0	0
89	当期一般正味財産増減額	310,545	4,858,705	△ 4,548,160
90	一般正味財産期首残高	33,167,281	28,308,576	4,858,705
91	一般正味財産期末残高	33,477,826	33,167,281	310,545
92	II 指定正味財産増減の部			
93	当期指定正味財産増減額	0	0	0
94	指定正味財産期首残高	0	0	0
95	指定正味財産期末残高	0	0	0
96	III 正味財産期末残高	33,477,826	33,167,281	310,545

## 正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	公益目的事業会計 (シルバーセンター事業)	法人会計	内部 取引等 消去	合計
1	I 一般正味財産増減の部				
2	1. 経常増減の部				
3	(1) 経常収益				
4	受託事業収益	156,966,625	3,178,924		160,145,549
5	受取配分金	133,282,438	0		133,282,438
6	受取材料費等	13,303,812	0		13,303,812
7	受取事務費	10,380,375	3,178,924		13,559,299
8	労働者派遣事業等受託収益	2,044,503	0		2,044,503
9	労働者派遣事業等受託収益	2,044,503	0		2,044,503
10	受取会費	220,500	220,500		441,000
11	正会員受取会費	199,500	199,500		399,000
12	特別会員受取会費	21,000	21,000		42,000
13	受取補助金等	40,115,000	0		40,115,000
14	受取連合交付金	18,839,000	0		18,839,000
15	受取市補助金	21,276,000	0		21,276,000
16	受取国庫助成金	0	0		0
17	受取負担金	595,860	0		595,860
18	受取負担金	595,860	0		595,860
19	特定資産運用益	0	44		44
20	特定資産受取利息	0	44		44
21	雑収益	214,262	254		214,516
22	受取利息	0	254		254
23	雑収益	98,655	0		98,655
24	受取配当金	400	0		400
25	受取保険金	115,207	0		115,207
26	経常収益計	200,156,750	3,399,722		203,556,472
27	(2) 経常費用				
28	事業費	199,846,205	0		199,846,205
29	支払配分金	133,282,438	0		133,282,438
30	支払材料費等	11,687,166	0		11,687,166
31	役員報酬	896,000	0		896,000
32	給料手当	29,883,835	0		29,883,835
33	臨時雇賃金	193,080	0		193,080
34	法定福利費	5,066,549	0		5,066,549
35	賞与引当金繰入額	2,068,444	0		2,068,444
36	退職給付費用	1,438,201	0		1,438,201
37	福利厚生費	77,930	0		77,930
38	会議費	12,152	0		12,152
39	旅費交通費	169,142	0		169,142
40	通信運搬費	1,226,357	0		1,226,357
41	減価償却費	2,304,086	0		2,304,086
42	什器備品費	54,780	0		54,780
43	消耗品費	554,056	0		554,056
44	修繕費	561,053	0		561,053
45	印刷製本費	973,200	0		973,200
46	光熱水料費	899,017	0		899,017
47	賃借料	1,657,033	0		1,657,033
48	保険料	1,354,390	0		1,354,390
49	諸謝金	93,000	0		93,000
50	租税公課	1,290,828	0		1,290,828
51	委託費	3,539,545	0		3,539,545
52	支払手数料	111,781	0		111,781
53	貸倒損失	111,339	0		111,339
54	支払利息	222	0		222
55	損害賠償金	135,207	0		135,207
56	雑費	205,374	0		205,374



## 正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	公益目的事業会計 (シルバーセンター事業)	法人会計	内部 取引等 消去	合計
57	管理費	0	3,399,722		3,399,722
58	役員報酬	0	919,000		919,000
59	給料手当	0	912,371		912,371
60	法定福利費	0	158,631		158,631
61	賞与引当金繰入額	0	76,188		76,188
62	退職給付費用	0	52,679		52,679
63	福利厚生費	0	2,070		2,070
64	会議費	0	18,867		18,867
65	旅費交通費	0	252,752		252,752
66	通信運搬費	0	136,506		136,506
67	減価償却費	0	27,828		27,828
68	消耗品費	0	29,247		29,247
69	印刷製本費	0	175,100		175,100
70	光熱水料費	0	74,406		74,406
71	賃借料	0	14,021		14,021
72	諸謝金	0	160,000		160,000
73	租税公課	0	21,600		21,600
74	支払負担金	0	268,500		268,500
75	委託費	0	62,961		62,961
76	支払手数料	0	1,815		1,815
77	貸倒損失	0	6,500		6,500
78	雑費	0	28,680		28,680
79	経常費用計	199,846,205	3,399,722		203,245,927
80	評価損益等調整前当期経常増減額	310,545	0		310,545
81	当期経常増減額	310,545	0		310,545
82	2. 経常外増減の部				
83	(1) 経常外収益				
84	経常外収益計	0	0		0
85	(2) 経常外費用				
86	経常外費用計	0	0		0
87	当期経常外増減額	0	0		0
88	他会計振替前当期一般正味財産増減額	310,545	0		310,545
89	他会計振替額	0	0		0
90	当期一般正味財産増減額	310,545	0		310,545
91	一般正味財産期首残高	23,971,291	9,195,990		33,167,281
92	一般正味財産期末残高	24,281,836	9,195,990		33,477,826
93	II 指定正味財産増減の部				
94	当期指定正味財産増減額	0	0		0
95	指定正味財産期首残高	0	0		0
96	指定正味財産期末残高	0	0		0
97	III 正味財産期末残高	24,281,836	9,195,990		33,477,826

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

(ア) 減価償却資産について、定額法により減価償却を実施している。

(イ) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産について、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

(ア) 賞与引当金について、職員に対する賞与の支給に備えるため支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減およびその残高

特定資産の増減およびその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
財政運営積立資産	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000
インボイス対応準備資金積立資産	2,500,000	500,000	0	3,000,000
施設整備積立資産	2,200,000	0	0	2,200,000
車両運搬具購入積立資産	2,039,000	0	0	2,039,000
OA機器更新積立資産	3,867,600	0	3,867,600	0
什器備品購入積立資産	415,000	0	0	415,000
合 計	18,021,600	7,500,000	10,867,600	14,654,000

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
財政運営積立資産	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
インボイス対応準備資金積立資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
施設整備積立資産	2,200,000	(0)	(2,200,000)	(0)
車両運搬具購入積立資産	2,039,000	(0)	(2,039,000)	(0)
什器備品購入積立資産	415,000	(0)	(415,000)	(0)
合 計	14,654,000	(0)	(14,654,000)	(0)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	802,940	460,984	341,956
車両運搬具	13,016,993	11,758,034	1,258,959
什器備品	12,163,526	8,285,495	3,878,031
合 計	25,983,459	20,504,513	5,478,946

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
高年齢者就業機会確保事業費等補助金	(公社)広島県シルバー人材センター連合会	0	5,339,000	5,339,000	0	-
雇用開発支援事業費等補助金	(公社)広島県シルバー人材センター連合会	0	13,500,000	13,500,000	0	-
庄原市シルバー人材センター事業補助金	庄原市	0	21,276,000	21,276,000	0	-
合 計		0	40,115,000	40,115,000	0	

### 附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記2で記載しているので省略する。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,096,490	2,144,632	2,096,490	0	2,144,632

## 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	手元保管	運転資金として	48,043
	預金	普通預金 庄原農協本店	運転資金として	4,981,440
		普通預金 庄原農協本店	運転資金として	407,540
		普通預金 広島みどり信用金庫本店	運転資金として	5,992,055
		普通預金 広島みどり信用金庫本店	運転資金として	45
		普通預金 広島銀行庄原支店	運転資金として	2,090,407
		振替口座 ゆうちょ銀行	運転資金として	2,356,229
		未収金	請負等の発注者に対する未収金	請負等に係る契約金額の未収分
	未収会費	会員に対する未収金	シルバー事業及び管理目的の業務に使用する会費の未収分	8,000
	立替金	庄原市三日市町20-13 教育交流教室つばさ	光熱水料費の立替え金額	26,153
前払金	保険料	令和5年度役員賠償責任保険、シルバー人材センターボランティア保険及び自動車保険の保険料の前払い金額	356,170	
流動資産合計				26,192,220
<b>(固定資産)</b>				
特定資産	財政運営積立資産	普通預金 広島みどり信用金庫本店	シルバー人材センター事業の運営資金として管理されている預金	7,000,000
		普通預金 広島みどり信用金庫本店	インボイス制度に対応するための準備資金として管理されている預金	2,500,000
	インボイス対応 準備資金積立資産	普通預金 広島みどり信用金庫本店	インボイス制度に対応するための準備資金として管理されている預金	500,000
		普通預金 広島みどり信用金庫本店		
	施設整備積立資産	定期預金 広島みどり信用金庫本店	施設の整備のための積立資金として管理されている預金	2,200,000
	車両運搬具購入 積立資産	普通預金 広島みどり信用金庫本店	車両運搬具購入のための積立資金で、共用財産である車両運搬具の保有割合により管理されている預金	2,039,000
什器備品購入 積立資産	普通預金 広島みどり信用金庫本店	什器備品購入のための積立資金として管理されている預金	415,000	
その他 固定資産	建物	物置 11.23㎡ほか 庄原市山内町字東山	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	341,956
	車両運搬具	いすゞ エルフ 広島400な231ほか6台	共用財産であり、うち98.1%は公益目的財産としてシルバー人材センター事業の用に供し、1.9%は管理運用の用に供している	1,258,959
	什器備品	クローラーショベルほか17台	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	828,945
		端末8台・ディスプレイ8台・プリンター4台・ルーター4台	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	3,049,086
	預託金	リサイクル料	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	58,530
	出資金	広島みどり信用金庫本店	公益目的保有財産でありシルバー人材センター事業に使用	10,000
固定資産合計				20,201,476
資産合計				46,393,696
<b>(流動負債)</b>				
	未払金	配分金190名	シルバー人材センター事業に供する配分金の未払い金額	8,221,017
		支払い費用等	シルバー人材センター事業に供する費用等未払い金額	1,271,346
	前受金	請負等の発注者からの前受金	契約額の前受け金額	14,530
		正会員282名・特別会員38名	令和5年度前受会費等	752,120
	預り金	源泉所得税等	職員からの源泉所得税等預り金	480,225
	仮受金	互助会に対するもの	令和5年度の互助会の会費	32,000
	賞与引当金	職員に対するもの	職員の賞与の支払いに備えたもの	2,144,632
流動負債合計				12,915,870
負債合計				12,915,870
正味財産				33,477,826

## 収支計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差異
1	I 一般正味財産増減の部					
2	1. 経常増減の部					
3	(1) 経常収益					
4	受託事業収益	164,783,000	0	164,783,000	160,145,549	4,637,451
5	受取配分金	134,240,000	0	134,240,000	133,282,438	957,562
6	受取材料費等	17,119,000	0	17,119,000	13,303,812	3,815,188
7	受取事務費	13,424,000	0	13,424,000	13,559,299	△ 135,299
8	労働者派遣事業等受託収益	2,017,000	0	2,017,000	2,044,503	△ 27,503
9	労働者派遣事業等受託収益	2,017,000	0	2,017,000	2,044,503	△ 27,503
10	受取会費	432,000	0	432,000	441,000	△ 9,000
11	正会員受取会費	386,000	0	386,000	399,000	△ 13,000
12	特別会員受取会費	46,000	0	46,000	42,000	4,000
13	受取補助金等	40,115,000	0	40,115,000	40,115,000	0
14	受取連合交付金	18,839,000	0	18,839,000	18,839,000	0
15	受取市補助金	21,276,000	0	21,276,000	21,276,000	0
16	受取負担金	589,000	0	589,000	595,860	△ 6,860
17	受取負担金	589,000	0	589,000	595,860	△ 6,860
18	受取寄付金	1,000	0	1,000	0	1,000
19	受取寄付金	1,000	0	1,000	0	1,000
20	特定資産運用益	1,000	0	1,000	44	956
21	特定資産受取利息	1,000	0	1,000	44	956
22	雑収益	178,000	0	178,000	214,516	△ 36,516
23	受取利息	1,000	0	1,000	254	746
24	雑収益	106,000	0	106,000	98,655	7,345
25	受取配当金	1,000	0	1,000	400	600
26	受取保険金	70,000	0	70,000	115,207	△ 45,207
27	経常収益計	208,116,000	0	208,116,000	203,556,472	4,559,528
28	(2) 経常費用					
29	事業費	204,621,000	2,991,200	207,612,200	199,846,205	7,765,995
30	支払配分金	134,240,000	0	134,240,000	133,282,438	957,562
31	支払材料費等	14,700,000	0	14,700,000	11,687,166	3,012,834
32	役員報酬	576,000	320,000	896,000	896,000	0
33	給料手当	28,834,000	1,567,000	30,401,000	29,883,835	517,165
34	臨時雇賃金	186,000	8,000	194,000	193,080	920
35	法定福利費	4,923,000	176,000	5,099,000	5,066,549	32,451
36	賞与引当金繰入額	2,209,000	132,000	2,341,000	2,068,444	272,556
37	退職給付費用	1,421,000	24,000	1,445,000	1,438,201	6,799
38	福利厚生費	177,000	0	177,000	77,930	99,070
39	会議費	26,000	0	26,000	12,152	13,848
40	旅費交通費	179,000	66,000	245,000	169,142	75,858
41	通信運搬費	1,203,000	24,000	1,227,000	1,226,357	643
42	減価償却費	3,046,000	0	3,046,000	2,304,086	741,914
43	什器備品費	200,000	0	200,000	54,780	145,220
44	消耗品費	569,000	80,000	649,000	554,056	94,944
45	修繕費	950,000	0	950,000	561,053	388,947
46	印刷製本費	925,000	332,200	1,257,200	973,200	284,000
47	光熱水料費	937,000	0	937,000	899,017	37,983
48	賃借料	1,718,000	0	1,718,000	1,657,033	60,967
49	保険料	1,478,000	0	1,478,000	1,354,390	123,610
50	諸謝金	174,000	62,000	236,000	93,000	143,000
51	租税公課	1,373,000	0	1,373,000	1,290,828	82,172
52	委託費	3,937,000	△ 61,000	3,876,000	3,539,545	336,455
53	支払手数料	75,000	37,000	112,000	111,781	219
54	貸倒損失	13,000	105,000	118,000	111,339	6,661
55	支払利息	1,000	0	1,000	222	778
56	損害賠償金	87,000	119,000	206,000	135,207	70,793
57	雑費	464,000	0	464,000	205,374	258,626
58	管理費	3,495,000	218,000	3,713,000	3,399,722	313,278
59	役員報酬	760,000	159,000	919,000	919,000	0
60	給料手当	870,000	54,000	924,000	912,371	11,629
61	法定福利費	157,000	8,000	165,000	158,631	6,369
62	賞与引当金繰入額	73,000	4,000	77,000	76,188	812
63	退職給付費用	53,000	0	53,000	52,679	321
64	福利厚生費	5,000	0	5,000	2,070	2,930

## 収支計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

行 番号	科目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差異
65	会議費	88,000	△ 50,000	38,000	18,867	19,133
66	旅費交通費	256,000	53,000	309,000	252,752	56,248
67	通信運搬費	162,000	0	162,000	136,506	25,494
68	減価償却費	36,000	0	36,000	27,828	8,172
69	消耗品費	50,000	0	50,000	29,247	20,753
70	印刷製本費	186,000	0	186,000	175,100	10,900
71	光熱水料費	79,000	0	79,000	74,406	4,594
72	賃借料	15,000	0	15,000	14,021	979
73	諸謝金	72,000	88,000	160,000	160,000	0
74	租税公課	36,000	0	36,000	21,600	14,400
75	支払負担金	270,000	0	270,000	268,500	1,500
76	委託費	245,000	△ 98,000	147,000	62,961	84,039
77	支払手数料	5,000	0	5,000	1,815	3,185
78	貸倒損失	13,000	0	13,000	6,500	6,500
79	雑費	64,000	0	64,000	28,680	35,320
80	経常費用計	208,116,000	3,209,200	211,325,200	203,245,927	8,079,273
81	評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 3,209,200	△ 3,209,200	310,545	△ 3,519,745
82	当期経常増減額	0	△ 3,209,200	△ 3,209,200	310,545	△ 3,519,745
83	2. 経常外増減の部					
84	(1) 経常外収益					
85	経常外収益計	0	0	0	0	0
86	(2) 経常外費用					
87	経常外費用計	0	0	0	0	0
88	当期経常外増減額	0	0	0	0	0
89	当期一般正味財産増減額	0	△ 3,209,200	△ 3,209,200	310,545	△ 3,519,745
90	一般正味財産期首残高	28,308,576	4,858,705	33,167,281	33,167,281	0
91	一般正味財産期末残高	28,308,576	1,649,505	29,958,081	33,477,826	△ 3,519,745
92	II 指定正味財産増減の部					
93	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
94	指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
95	指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
96	III 正味財産期末残高	28,308,576	1,649,505	29,958,081	33,477,826	△ 3,519,745

## 収支計算書（注記）

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで



（単位：円）

行 番号	科目	当初予算額 (予算額)	補正予算額	予算現額	決算額	差異
1	【投資活動収支の部】					
2	＜投資活動収入＞					
3	特定資産取崩収入	13,079,000	0	13,079,000	10,867,600	2,211,400
4	財政運営積立資産取崩収入	7,000,000	0	7,000,000	7,000,000	0
5	車両運搬具購入積立資産取崩収入	1,531,000	0	1,531,000	0	1,531,000
6	OA機器更新積立資産取崩収入	4,133,000	0	4,133,000	3,867,600	265,400
7	什器備品購入積立資産取崩収入	415,000	0	415,000	0	415,000
8	投資活動収入計	13,079,000	0	13,079,000	10,867,600	2,211,400
9	＜投資活動支出＞					
10	固定資産取得支出	6,079,000	0	6,079,000	3,750,340	2,328,660
11	車両運搬具購入支出	1,531,000	0	1,531,000	0	1,531,000
12	什器備品購入支出	415,000	0	415,000	0	415,000
13	OA機器購入支出	4,133,000	0	4,133,000	3,750,340	382,660
14	特定資産取得支出	10,371,000	0	10,371,000	7,500,000	2,871,000
15	財政運営積立資産取得支出	7,000,000	0	7,000,000	7,000,000	0
16	インボイス対応準備資金取得支出	1,620,000	0	1,620,000	500,000	1,120,000
17	車両運搬具購入積立資産取得支出	509,000	0	509,000	0	509,000
18	OA機器更新積立資産取得支出	827,000	0	827,000	0	827,000
19	什器備品購入積立資産取得支出	415,000	0	415,000	0	415,000
20	敷金・保証金等支出	10,000	0	10,000	0	10,000
21	預託金支出	10,000	0	10,000	0	10,000
22	投資活動支出計	16,460,000	0	16,460,000	11,250,340	5,209,660
23	投資活動収支差額	△ 3,381,000	0	△ 3,381,000	△ 382,740	△ 2,998,260
24	【財務活動収支の部】					
25	＜財務活動収入＞					
26	財務活動収入計	0	0	0	0	0
27	＜財務活動支出＞					
28	リース資産支出	68,000	0	68,000	67,170	830
29	リース資産債務返済支出	68,000	0	68,000	67,170	830
30	財務活動支出計	68,000	0	68,000	67,170	830
31	財務活動収支差額	△ 68,000	0	△ 68,000	△ 67,170	△ 830
32	当期収支差額	△ 3,449,000	0	△ 3,449,000	△ 449,910	△ 2,999,090

# 監 査 報 告 書

令和5年5月9日

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター  
理事長 田村 富夫 様

監 事 石田 泰 則   
監 事 森 元 淳 三 

私たち監事は、公益社団法人庄原市シルバー人材センターの令和4年度における理事の職務の執行及び定款第43条第1項に規定する事業報告及び決算について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び定款第25条に基づき監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し業務執行及び財産の状況を調査しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

更に、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、収支計算書）、財産目録及び預金通帳について確認をいたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上



## 議案第 2 号

理事の選任に承認を求めることについて

理事の辞任に伴い欠員が生じたことから、公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款第 23 条第 1 項の規定に基づき、役員を選任について総会の決議を求める。

役職名	氏 名	住 所	新任・再任	備 考
理事	もりはら 盛原 勝	庄原市高野町下湯川 407-3	新任	正会員

任期：令和 5 年度定時総会決議後から令和 6 年度定時総会の終結時まで

令和 5 年 6 月 21 日 提出

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター  
理事長 田 村 富 夫

### 提案理由

柳原茂理事より一身上の都合により、令和 5 年度定時総会をもって辞任したい旨の届出があったことから、公益社団法人庄原市シルバー人材センター専門部会及び専門委員会設置規程第 3 条第 6 項第 1 号の規定に基づき、理事及び監事候補者選考委員会において後任の理事を選考し推薦されたものである。

## 議案第3号

### 理事長に対する権限委任について

総会の議決のうち、次に該当する軽微な字句修正等の権限を理事長に委任することについて、総会の承認を求める。

- 1 会員の権利義務に関しない軽微な字句修正並びに違算又は誤字の修正
- 2 行政庁の指示による修正

令和5年6月21日 提出

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター  
理事長 田 村 富 夫

### 提案理由

総会の議決のうち、軽微な字句修正等に関し、理事長に対して権限を委任するものである。

## 報告第3号

令和5年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて

公益社団法人庄原市シルバー人材センター定款42条第1項の規定に基づき、令和5年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて総会に報告する。

令和5年6月21日

公益社団法人 庄原市シルバー人材センター

理事長 田村 富夫

### 令和5年度事業計画

#### I 基本方針

新型コロナウイルスのパンデミックを乗り越えた後の経済復調と、未だに終息が見込めないロシアのウクライナ侵攻の影響は、資源や食料、人手不足などにより世界的な未曾有の物価高に直面しています。

一方、新型コロナウイルスは発生から3年が経過し、政府は新型コロナの感染症法上の位置づけを5月8日に、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を正式に決めました。

以前の生活に戻る第一歩をやっと歩みだせる。少し光が見えてきたように思われます。

本市の人口構造の変化をみると、少子高齢化の進行により、平成2年では1人の高齢者を2.2人で支える構造であったものが、団塊の世代が後期高齢者に移行する令和7年には、1人の高齢者を0.9人（1人未満）で支える構造になると想定されています。

こうした中で、高齢者雇用や年金制度の改正、全世代型社会保障改革、物価高騰など高齢者を取り巻く環境は大きく変容してきています。また、高齢者の平均寿命は延び「人生100年時代」と言われる一方では、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯が増加しており、高齢者の自立と安心への対応が求められています。

こうした社会的背景を踏まえ、更なる高齢者の就業と生きがい対策の強化に向けた方策、指針として第4期中次中期計画(令和5年度～令和9年度)を昨年度策定しました。

この計画は、シルバー人材センターの現状と課題を踏まえ、「支えられる高齢者から支える高齢者へ」を基本目標に設定し、目標を達成するための具体的取組みについて、「自主・自立」の基本理念のもと会員、役員、職員が議論を重ね取り纏めたものです。

事業計画は第4次中期計画に沿って記載していますが、具体的な取り組み内容を今年度実施計画として整理し、今後5ケ年において、会員拡大、就業の開拓、安全就業、適正就業等の目標達成に向け会員、役員、職員が一体となり着実に取り組みを進めます。

なお、令和5年度の事業計画の目標設定は、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が定める第2次会員拡大100万人達成計画の取組において、令和4年度に引き続きコロナ前の水準(令和元年度の会員数71.5万人)に回復させることを目標とされたことから、目標会員数を430人とし、令和5年度末の請負事業受注金額目標及び派遣事業受注金額目標についても、それぞれ令和元年度の受注金額を目標としています。

## II 事業計画

### 1 雇用によらない就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、会員の能力、希望等に応じて請負又は委任という形態により提供します。

#### (1) 請負又は委任による事業

令和5年度末の請負事業受注金額目標：162,500千円

(令和3年度の実績：161,651千円)

#### (2) 独自事業

令和5年度独自事業受注金額目標：2,200千円

(令和3年度の実績：2,321千円)

### 2 雇用による就業機会の提供

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、以下の事業により雇用による臨時的かつ短期的な就業機会の提供を行います。

#### (1) 派遣労働事業

労働者派遣事業を実施する広島県シルバー人材センター連合会の庄原事務所として、会員に雇用による就業の機会を提供し、多様な働き方を推進します。

令和5年度末の派遣事業受注金額目標：24,600千円[受託収益2,586千円]

(令和3年度の実績：19,418千円[受託収益2,116千円])

## (2) 職業紹介事業

雇用による就業を希望する高齢者に、就業機会を確保する職業紹介事業を有料で実施するとともに、当該事業推進のため職員の資質向上を図ります。

### 3 就業に必要な知識・技能を付与するための講習等

就業上必要な知識・技能を身に付けることで就業の拡大に結び付けるとともに、スキルアップ(技能や能力の向上)することでより広い就業分野での仕事の確保と多様な仕事の提供、適切な仕事の仕上がりにつながるよう取り組みます。

(1) 広島県シルバー人材センター連合会が実施する研修会等を積極的に活用し、会員のスキル向上を図ります。

(2) 発注者の信頼を得て、多様な職種へ就業するため、剪定や家事支援、交通誘導、マナー、しめ縄づくり等の講習会を実施し、会員のスキルアップを図ります。

### 4 事業推進のための諸活動及び社会参加活動等

(1) 普及啓発(市民に知ってもらう。)

①口コミで広めチラシの配布を行います。

市民(特に60歳以上)に知ってもらうため、会員ひとり一人が知人・友人に声を掛け誘う取り組みが重要です。シルバーの魅力を口コミで広め、地域行事でチラシの配布を行うなど、幅広い活動を促します。

②多様な媒体で多方面に広報します。

会報誌やホームページを充実させるとともに、ハローワークや市役所、自治振興センター、市内ショッピングセンターなどへのポスター掲示やチラシの新聞折込み、市広報誌等への広告掲載、市役所ロビーへのパネル展示など、多方面に広報を行います。

③ボランティア活動を一般の市民参加と一緒に活動します。

ボランティア活動時に、シルバーの看板やのぼり旗の設置、広告用マグネットを会員の車に付けてもらうほか、ボランティア活動に60歳以上の一般の市民参加を募るなど、シルバー活動の周知を図ります。

④イベントの開催や地域行事(イベント)に参加します。

シルバー祭り等のイベント開催や、60歳以上の市民を対象としたイベント(スマホ教室、草刈り機安全講習会など)を開催し、シルバー事業をアピールします。また、地域行事等に会員や役職員が出向き入会案内やシルバー事業の説明、チラシの配布、ノベルティグッズの配布を計画します。

## (2) 安全・適正就業の推進

### ■安全就業の推進

①研修会、講習会を受講します。

リーダー研修や刈払い機・チェーンソーの安全講習会、熱中症対策講習会、安全衛生責任者研修、応急措置等安全講習会などを開催し、会員の安全と技能の向上を進めます。

②安全就業に関する決まり事を守ります。

過去には当センターにおいても重篤事故が発生しており、教訓として活かしていくことが重要です。「安全はすべてに優先する。」を基本に、会員安全就業基準及び適正就業ガイドラインの周知と遵守の徹底に取り組みます。

(例えば、受注受付時や現地見積確認時に就業場所や作業の危険度を確認し、危険・有害作業と判断される場合は受注しません。また、受注時には危険・有害作業と判断されず受注された仕事でも、会員が作業中に危険又は有害作業と思われる場合は作業を中止するなど、安全就業に関し守るべき事項が記載されています。)

③作業前ミーティングと安全チェックを励行します。

作業前ミーティングと安全チェックの実施を徹底します。さらに、安全装備(ヘルメット、服装等)の適正着用を会員同士で確認するなど、会員安全就業基準の遵守に取り組みます。

④自己の体調管理と会員同士で気配りをします。

日頃の健康管理をしっかりと行うとともに、時間にとらわれない、ゆとりのある働き方、自身の年齢や体調を考慮した働き方へ、会員の就労意識の変革に取り組みます。また、会員同士の合図や声掛け、配慮(目配り・気配り)など、「共働・共助」の意識の醸成に取り組みます。

⑤注意喚起します。

会報誌により事故やヒアリハット(現場において重大な事故につながる可能性のある事象)の事例を周知するとともに、SMS(携帯電話番号宛てに短いメッセージを送れるサービス)を利用し管内の事故事例や熱中症警報の発信など、安全注意喚起を行います。また、安全スローガンの募集や定期的に安全パトロールを実施することで、会員の安全意識の高揚を図ります。

⑥安全運転講習会に参加します。

高齢者ドライバーによる痛ましい事故が後を絶たないことから、派遣事業で自動車の運転業務に携わる会員に対しては、安全確保のため1年に1回の講習会参加を検討します。

令和5年度末の傷害事故目標：0件(令和3年度の傷害事故発生件数：6件)

令和5年度末の物損事故目標：0件(令和3年度の物損事故発生件数：9件)

■適正就業の推進

①適正就業に関する決まり事を守ります。

適正就業ガイドライン、安全及び適正就業に関する規程の周知と遵守の徹底を図ります。(例えば、請負、委任で受注した内容が関係法令や適正就業ガイドラインに抵触する場合は受注禁止です。会員就業中に、法令に抵触することが判明した場合は作業を中止する(派遣事業とすべき仕事は発注者の理解の下で派遣に切り替えます。)など、適正就業に関し守るべき事項が記載されています。)

②現地確認を原則として適正な見積をします。

就業依頼は、会員とセンター職員で現地を確認し、作業条件等を加味して見積作成することを原則とします。発注者の信頼のもと依頼が継続するよう適正見積に留意するとともに、受注した仕事は責任を持って誠実、丁寧地完成します。

③ワークシェアリング(就業機会の公平化)します。

施設管理や水道メーター検針作業は、センターの基本理念に基づきワークシェアリング(就業機会の公平化)やローテーション(交代)を原則とします。

(3)就業の開拓・拡大

(1)シルバー活動を周知(就業開拓)

①発注者(市民・企業)に知ってもらいます。

4 事業推進のための諸活動及び社会参加活動等

(1) 普及啓発(市民に知ってもらう。)に併せて取り組みます。

②イベントを開催・イベントに参加しセンターの活動をアピールします。

4 事業推進のための諸活動及び社会参加活動等

(1) 普及啓発(市民に知ってもらう。)に併せて取り組みます。

(2)受注職種の確保、拡大

①市場調査と営業活動を行います。

市内企業(森林、社協、会社など)に対してニーズの聞き取りなど市場調査を行い、受注職種の確保と拡大を図ります。また、庄原市や企業に対して、積極的に事業提案を行うなど、一般事務や経理事務の開拓も含め営業活動を行います。

②事例調査を行います。

他のセンターの取り組み事例(空き家管理事業等)を調査し、会員ニーズと地域ニーズにマッチした事業を検討します。

令和5年度の会員就業率目標：83%(令和3年度の会員実績：82.1%)

(4) 相談、情報提供

①退会を防止します。

就業実績がない会員への声掛けや会員アンケート(就業状況、希望職種の再確認、未就業理由の把握)等を実施し就業相談を行うなど、会員と仕事のマッチングを強化します。

②多様な入会説明会を開催します。

定例日(毎月20日)に加え、ニーズに応えた出張説明会や臨時の対応を行います。またWeb入会について検討します。

③情報公開を進めます。

公益法人として、公正、公平、透明性の下で公益性を重視した事業運営のため、センターの活動や経営内容について会報誌やホームページ等で情報を公開し、センターへの信頼を高めます。なお、令和5年度において国のデジタル化整備促進事業に採択されたことから、就業情報や配分金明細、就業依頼を会員が自宅のパソコンやスマホから確認できる仕組みの導入普及を進めます。

令和5年度末の会員目標：430人(令和3年度の実績：413人)

(5) 社会参加活動の推進

①啓発活動に継続して取り組みます。

社会への貢献とシルバー活動の普及・啓発のため、全国統一社会奉仕活動や地域地区班で取り組むボランティア活動を継続して取り組みます。

②会員の活動参加を促します。

会員の就業促進とボランティア参加者へのインセンティブ(特典)として、「なみか」・「ほろか」ポイントの付与や、市内バスの乗車割引の取り組みなど、会員の活動参加を促します。

5 法人活動と事務局機能の強化

(1) 専門部会活動の充実

①組織会議を活性化します。

基本理念の「自主・自立」に沿った事業運営のため、会員は地区懇談会や班長会議等様々な機会を通して意見を述べ、役員は意見に対して理事会や専門部会・専門員会等の組織会議で課題共有し、深い議論を促す体制を構築します。

②女性の活躍促進を進めます。

女性会員拡大、活躍促進のため、女性部会の設置について検討します。

なお、令和5年度は役員の改選期となります。理事及び監事候補者選考内規で定める理事の人数や理事選考の年齢制限等について、現状を踏まえて理事会で検討します。

(2) 財政の安定化

①収入を確保(補助金)します。

国、市への予算措置等の要望活動を継続するとともに、国の補助金限度額算定要素(会員数、延べ就業人員数など)の拡大に取り組みます。



②収入を確保(自主的財源)をします。

収支相償のもとで必要となる収入の確保及び、今年10月から施行される適格請求書保存方式(インボイス制度)への対応については、委任、請負、派遣の受注拡大及び、契約代金の確実な徴収、会員会費の増額並びに需要額に応じた事務費率の設定等により必要な自主的財源の確保に努めます。なお、令和5年度のインボイス制度施行によるセンター負担は、特定資産(インボイス対応準備資金)を取崩して対応します。

③支出を抑制します。

会員就業をサポートする作業機械等の導入経費や経理事務のシステム経費、会議費、人件費などの事業運営経費は、支所の時季による業務時間の最適化や業務の電子決裁導入等、効率化と合理化を進めることで支出を抑えます。

(3) 事務局体制の充実強化

①組織マネジメント(組織が目標達成に向けて円滑に業務を行える体制管理)に取り組む。

三役会や事務局定例会議を定例化し、課題共有と解決に向けた議論の促進、対応の迅速化に取り組みます。

また、業務量に即した勤務形態への見直しや会員や発注者、地域社会からのニーズに応える職員の育成、職場の健全性確保(マンネリ化、常態化の防止)のための業務異動や配置転換、事務手続きの可視化(マニュアル)と共有化等を進めることで事務機能の最大化をめざします。

②経営マネジメント(ヒト・モノ・カネを適切に管理した法人経営)に取り組む。

収入に見合う支出を中期的視点で管理することで、持続的に安定した事業運営を進めます。また、事業に関しては、第4次中期計画の実施計画を策定し毎年度、事業計画に落とし込んで実施します。事業計画の進捗管理はPDCAサイクル(Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)」という流れを繰り返し行うことで計画目標の達成を目指す手法)により中期事業計画に照らして検証と見直しを行い、翌年度の実施計画及び事業計画に反映・最適化することで計画達成をめざします。

③リスクマネジメント(リスクを組織的に管理し、損失などの回避または低減を進める手法)に取り組みます。

対応の手順、関係規定に基づき都度適切に対処することで、不祥事の発生防止とセンターへの信頼の確保に努めます。なお、長期にわたり職員の業務が固定化していることから、継続的な事務処理と不祥事等への牽制のため適正配置に取り組みます。

④コンプライアンス(組織が法令や倫理といった社会的な規範から逸脱することない適切な事業遂行)を遵守します。

法令等を遵守するとともに、法令の目的である社会的要請、社会通念及び社会倫理等を尊重して行動するよう、法令等の遵守態勢の確立、遵守意識の醸成・定着、研修会へ

の積極的参加などに取り組みます。

⑤ガバナンス(規程等のルール整備と法人の管理・運営・統治)を強化します。

ガバナンスを強化することで組織、職場の規律を正します。具体的には、コンプライアンスの遵守に加え、関係法令の改正や社会の要請等に応じた相応しい規範(定款、規程、規則等)となるよう、常に見直しします。また、職員が、それぞれの役割や職責、職務を適切に果たしていると認められるように行動し、かつ説明責任を果たします。

# 収 支 予 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：千円)

行 番号	科目	予算額	前年度予算額	増減
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	受託事業収益	164,700	164,783	△ 83
5	受取配分金	134,545	134,240	305
6	受取材料費等	16,700	17,119	△ 419
7	受取事務費	13,455	13,424	31
8	労働者派遣事業等受託収益	2,586	2,017	569
9	労働者派遣事業等受託収益	2,586	2,017	569
10	受取会費	432	432	0
11	正会員受取会費	386	386	0
12	特別会員受取会費	46	46	0
13	受取補助金等	38,585	40,115	△ 1,530
14	受取連合交付金	17,309	18,839	△ 1,530
15	受取市補助金	21,276	21,276	0
16	受取負担金	589	589	0
17	受取負担金	589	589	0
18	受取寄付金	1	1	0
19	受取寄付金	1	1	0
20	特定資産運用益	1	1	0
21	特定資産受取利息	1	1	0
22	雑収益	218	178	40
23	受取利息	1	1	0
24	受取配当金	1	1	0
25	受取保険金	170	70	100
26	雑収益	46	106	△ 60
27	経常収益計	207,112	208,116	△ 1,004
28	(2) 経常費用			
29	事業費	208,972	204,621	4,351
30	支払配分金	134,545	134,240	305
31	支払材料費等	14,500	14,700	△ 200
32	役員報酬	960	576	384
33	給料手当	31,451	28,834	2,617
34	臨時雇賃金	194	186	8
35	法定福利費	5,446	4,923	523
36	賞与引当金繰入額	2,381	2,209	172
37	退職給付費用	1,537	1,421	116
38	福利厚生費	89	177	△ 88
39	会議費	32	26	6
40	旅費交通費	282	179	103
41	通信運搬費	1,147	1,203	△ 56
42	減価償却費	2,165	3,046	△ 881
43	什器備品費	110	200	△ 90
44	消耗品費	563	569	△ 6
45	修繕費	900	950	△ 50
46	印刷製本費	941	925	16
47	光熱水料費	1,271	937	334
48	賃借料	1,725	1,718	7
49	保険料	1,508	1,478	30
50	諸謝金	114	174	△ 60
51	租税公課	2,298	1,373	925

# 収 支 予 算 書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：千円)

行 番号	科目	予算額	前年度予算額	増減
52	委託費	3,707	3,937	△ 230
53	支払手数料	549	75	474
54	貸倒損失	16	13	3
55	支払利息	0	1	△ 1
56	損害賠償金	200	87	113
57	雑費	341	464	△ 123
58	管理費	4,098	3,495	603
59	役員報酬	1,087	760	327
60	給料手当	938	870	68
61	法定福利費	171	157	14
62	賞与引当金繰入額	79	73	6
63	退職給付費用	55	53	2
64	福利厚生費	3	5	△ 2
65	会議費	110	88	22
66	旅費交通費	361	256	105
67	通信運搬費	194	162	32
68	減価償却費	24	36	△ 12
69	消耗品費	40	50	△ 10
70	印刷製本費	206	186	20
71	光熱水料費	107	79	28
72	賃借料	13	15	△ 2
73	諸謝金	204	72	132
74	租税公課	36	36	0
75	支払負担金	269	270	△ 1
76	委託費	74	245	△ 171
77	支払手数料	5	5	0
78	貸倒損失	16	13	3
79	雑費	106	64	42
80	経常費用計	213,070	208,116	4,954
81	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,958	0	△ 5,958
82	当期経常増減額	△ 5,958	0	△ 5,958
83	2. 経常外増減の部			
84	(1) 経常外収益			
85	経常外収益計	0	0	0
86	(2) 経常外費用			
87	経常外費用計	0	0	0
88	当期経常外増減額	0	0	0
89	当期一般正味財産増減額	△ 5,958	0	△ 5,958
90	一般正味財産期首残高	33,167	33,167	0
91	一般正味財産期末残高	27,209	33,167	△ 5,958
92	II 指定正味財産増減の部			
93	当期指定正味財産増減額	0	0	0
94	指定正味財産期首残高	0	0	0
95	指定正味財産期末残高	0	0	0
96	III 正味財産期末残高	27,209	33,167	△ 5,958

## 収 支 予 算 書 (注記)

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：千円)

行 番号	科目	予算額	前年度予算額	増減
1	【投資活動収支の部】			
2	＜投資活動収入＞			
3	特定資産取崩収入	8,255	13,079	△ 4,824
4	財政運営積立資産取崩収入	7,000	7,000	0
5	インボイス対応準備資金取崩収入	1,255	0	1,255
6	車両運搬具購入積立資産取崩収入	0	1,531	△ 1,531
7	〇A機器更新積立資産取崩収入	0	4,133	△ 4,133
8	什器備品購入積立資産取崩収入	0	415	△ 415
9	投資活動収入計	8,255	13,079	△ 4,824
10	＜投資活動支出＞			
11	固定資産取得支出	0	6,079	△ 6,079
12	車両運搬具購入支出	0	1,531	△ 1,531
13	什器備品購入支出	0	415	△ 415
14	〇A機器購入支出	0	4,133	△ 4,133
15	特定資産取得支出	7,000	10,371	△ 3,371
16	財政運営積立資産取得支出	7,000	7,000	0
17	インボイス対応準備資金取得支出	0	1,620	△ 1,620
18	車両運搬具購入積立資産取得支出	0	509	△ 509
19	〇A機器更新積立資産取得支出	0	827	△ 827
20	什器備品購入積立資産取得支出	0	415	△ 415
21	敷金・保証金等支出	0	10	△ 10
22	預託金支出	0	10	△ 10
23	投資活動支出計	7,000	16,460	△ 9,460
24	投資活動収支差額	1,255	△ 3,381	4,636
25	【財務活動収支の部】			
26	＜財務活動収入＞			
27	財務活動収入計	0	0	0
28	＜財務活動支出＞			
29	リース資産支出	0	68	△ 68
30	リース資産債務返済支出	0	68	△ 68
31	財務活動支出計	0	68	△ 68
32	財務活動収支差額	0	△ 68	68
33	当期収支差額	1,255	△ 3,449	4,704

### 令和 5 年度資金調達及び設備投資の見込み

#### (1) 資金調達の見込み

借入れ予定の有無		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	借入れ先	金額(限度額)	使 途
—	—	—	—

#### (2) 設備投資の見込み

設備投資予定の有無		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
事業番号	計画内容	支出又は収入予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
—	—	—	—

庄原市シルバー人材センター

**会員スローガン**

◎ 明るく 楽しく 元気よく

今日も一日社会貢献

小池 毅司 作 (本村町)

**安全就業スローガン**

(令和5年度から令和7年度)

◎ 今一度 手元足元 確かめて

咽原 宏行 作 (上原町)

◎ 元気に感謝 今日も笑顔で 安全就業

榮田 朝子 作 (比和町)



# 私たちの自覚と心構え

私たちは、シルバー人材センターの活動に参加し、活力ある地域社会づくりに寄与するために、次のことを遵守します。

- 一 私たちは、働くことによる社会参加に喜びと生きがいを求めます。
- 一 私たちは、シルバー人材センター会員としての誇りを持って就業します。
- 一 私たちは、豊かな経験を生かして誠実に仕事に取り組めます。
- 一 私たちは、常に健康と安全に留意し注意力をもって就業します。
- 一 私たちは、会員相互の共働・共助を大切にして仕事の責任を果たします。
- 一 私たちは、ボランティア活動への参加やサークル活動など『できること』『できる範囲で』社会参加の更なる促進を図ります。

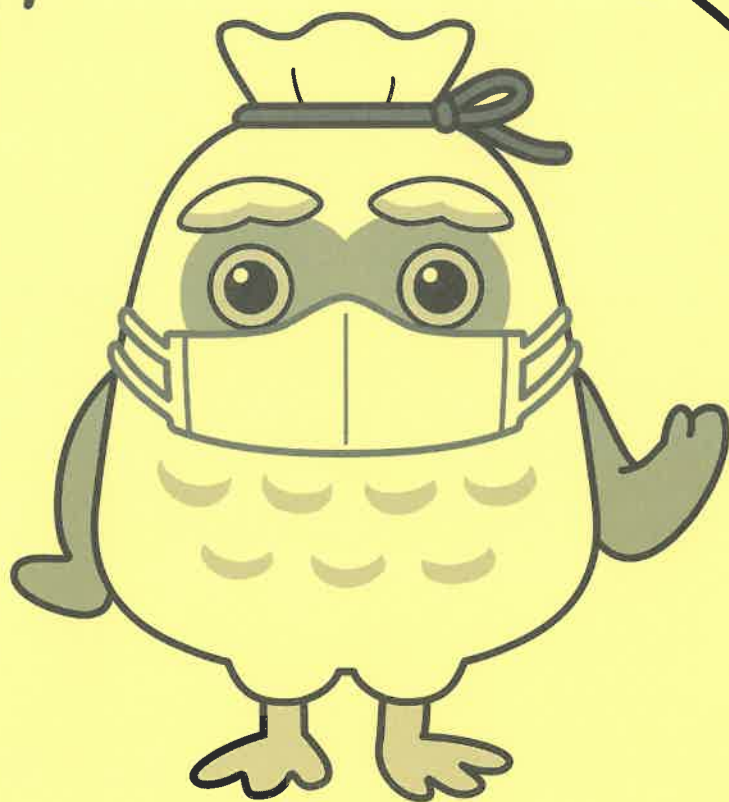
公益社団法人 庄原市シルバー人材センター

E-mail : sjc@syobara.jp

<https://webc.sjc.ne.jp/syobara/>

○本所 庄原市田園文化センター 道路向かい南側	〒727-0021 庄原市三日市町 20 番地 13 TEL:0824-72-1135 FAX:0824-72-8733
○西城支所 西城町保健福祉総合センター しあわせ館内	〒729-5742 庄原市西城町中野 1339 TEL:0824-82-3005 FAX:0824-82-2223
○東城支所 庄原市役所東城支所内	〒729-5121 庄原市東城町川東 1175 TEL:08477-2-4948 FAX:08477-3-0051
○北部支所 比和ふれあいセンター内	〒727-0301 庄原市比和町比和 792 TEL:0824-85-2359 FAX:兼用

シルバー人材センター



庄原シルバー **3** つのよろこび

- 健康である よろこび
- 就業できる よろこび
- 感謝される よろこび